

=編集後記=

第7号には寄稿論文4本と投稿論文3本を掲載することになり、充実した内容の号となりました。

まず寄稿論文では、当学会の第8回大会パネルで扱ったICTを活用したことばの教育の実践的展開が紹介されている論文、当学会プロジェクトによる実践を語り学び合える場の創造についての論文と、ノートンによる書籍『アイデンティティと言語学習』の読書会活動報告の論文、さらに、現場で活動する登録・派遣型指導員当事者の語りの分析から「協働」への一助にしようとする論文が寄稿されています。

次に投稿論文では、本号には4本の投稿があり、そのうち3本が採用となりました。うち2本の研究論文は、学校現場での支援者とその方法や体制にフォーカスされています。授業中のスキヤフオールディングとその土台づくりについて、支援員がいかに学習者に接し、教員とコミュニケーションをとっていくべきかを考察している論文と、教員・生徒だけでなく、保護者へのアプローチを試みた研究によって教員の意識変容と研修の必要性が論考されている論文です。実践論文では高校生のキャリア支援の実態に迫り、行われたワークショップから進学や就職支援の成果と課題が具体的に表出されています。

今号は多文化共生教育の幅広い取組が求められていることを再認識する論文が出揃いました。子どもへの日本語教育に焦点をあてた本ジャーナルが多くの教育従事者に共感的に受け入れられ、子ども一人ひとりへの支援の充実に変わることを願います。

2024/12/22【K】

〈査読・閲読協力者〉

池上摩希子（早稲田大学）、和泉元千春（奈良教育大学）、唐木澤みどり（学習院大学）、川上さくら（大阪府立大阪わかば高等学校）、川田麻記（桜美林大学）、工藤聖子（東京学芸大学）、窪津宏美（釜山大学）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、齊藤美穂（神戸大学）、田中祐輔（筑波大学）、花島健司（港区立麻布小学校）、原瑞穂（東京学芸大学）、山田拓路（NPO法人メタノイア）

〈編集委員会〉

編集委員長：西川朋美（お茶の水女子大学）

副委員長：田中祐輔（筑波大学）

委員：池上摩希子（早稲田大学）、和泉元千春（奈良教育大学）、唐木澤みどり（学習院大学）、川上さくら（大阪府立大阪わかば高等学校）、川田麻記（桜美林大学）、窪津宏美（釜山大学）、齋藤ひろみ（東京学芸大学）、齊藤美穂（神戸大学）、花島健司（港区立麻布小学校）、原瑞穂（東京学芸大学）

事務局：王夢薇（お茶の水女子大学大学院）
〈ページデザイン〉片岡好デザイン事務所